



社会福祉法人 真宗協会



障害者支援施設

帯広慈光学園

やまびこ

撮影地/ 帯広市 大正公園



新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスによるクラスター感染にも多大なご心配をお掛けしました。昨年末は無事にクリスマス会も実施でき、大晦日は皆様に、のんびりと過ごして頂くことが出来ました。



新年も賑やかに皆さんで、お節やお寿司、カレーなどレオックさんの心づくしのお食事を頂き英気を養い、心新たに4日からの日中活動を開始しています。今年も行動制限の中の活動となりそうですが、工夫を凝らして皆様の笑顔が沢山溢れる行事や活動を計画し、ご家族様に安心していただけるよう、また、広報誌を通じて皆様の活躍される姿をお届けして参ります。

(石田生活支援主任)



2023 クリスマス会 Photo collection



柔らかいステーキ
に、デミソースのパ
スタ！見た目も楽
しい洋食ランチ♪



Western launch



Chinese launch

海老たっぷりのエ
ビ玉に、酢豚や春
巻きなどの欲張り
中華ランチ♪



12月22日、慈光学園にてクリスマス会を実施しました。コロナ明けということもあり、ささやかな会でしたが、皆さん大好きなカラオケで盛り上がり、お昼は「ノースランド帯広」の豪華お弁当を、中華・洋食と選んで美味しく頂きました。

園内ということもあって、合間に「お腹いっぱい♪」と寝転がったり職員と沢山お話ししたり、おうちクリスマスさながら、各居室ほのぼのとした時間が流れていました。

クリスマスケーキを頂いた後は、大西サンタと稲守サンタが各部屋を訪問しクリスマスプレゼントを手渡すと、早速開封し「やった！欲しかったの！」「これ、いいでしょ！」と喜ばれる笑顔に、職員も嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

(石田生活支援主任)



希望旅行

〜足寄動物化石博物館の旅〜



9月の希望旅行は、全員男性利用者様ということもあり足寄動物化石博物館に行ってきました。館内に入ると、早速大きな骨格標本がお出迎え。皆さん会話することも忘れ、次々と歩みを進められ太古の昔に生息していた巨大生物に興味津々の様子。また各展示の前で解説の音声に聞き耳を立て、時には恐竜をバックに記念撮影と、とても充実した旅行となりました。
(高橋生活支援員)



希望旅行

〜十勝観光をめぐる旅〜



希望旅行第6弾は昨年10月6日に実施しました。午前は中札内の花畑牧場にて、ファームランドで動物たちと直にふれあう事が出来ました。皆さん自然と笑みがこぼれ楽しまれました。その後は忠類道の駅でアイスクリームのおやつタイム♪昼食は忠類の「食堂このみ」で各々好きなメニューを注文し、美味しさに皆さん大満足の完食でした。午後は広尾サンタランドを観光し、大樹でお買い物を楽しむことが出来ました。
(山田生活支援員)



地域貢献活動 大正町内ゴミ拾い



地域貢献活動として、毎年行っている、大正町内ゴミ拾い！ 11月は椎茸ビニールグループが担当です。初冬ということ、冷たい風が体温を奪う中、防寒着に身を包み、職員の「さあ、行きましょう！」の掛け声を合図にスタート。今回清掃活動を行った道路は、日中活動の作業で毎日のように私たちが使う道路。その歩き慣れた道路を中心に、道端に落ちている紙くずやタバコの吸い殻、また空き缶など様々なゴミを次々に見つけ、利用者様どうし先を競うようにゴミ袋に入れていただきました。普段自分たちが生活し、そしてお世話になっている大正町内に恩返しをするという強い気持ちを持ちながら、最後まで皆さん頑張ってくれました。
(高橋生活支援員)

どさんこ

楽(たの)フェス

〜オンラインだよ！ 全員集合〜

北海道知的障がい福祉協会が主催する「どさんこ楽(たの)フェス」に参加しました。参加と言っても、皆さんでバスに乗ってお出かけた訳ではありません。コロナ禍の現在、世間ではオンラインが普及しましたが、実はこの行事もオンライン！札幌で開催された行事を道内の各施設で、同時進行で参加できる！そんな時代になったのですね。さて肝心の行事内容ですが、簡単に説明すると「北海道の皆さんと一緒に楽しみましょう！」という内容。手品や、漫才など盛りだくさん。中でも「音楽に合わせて体を動かそう！」では、立ち上がって踊っている方もちらほら。中々自由な行動も叶わなご時世ですが、北海道全体で楽しいひと時を体験することができました。
(高橋生活支援員)



ポスターコンクール 作画会



1月7日の開所日活動にて、障がい者週間のポスターコンクール出展に向けて作画会を行いました。

テーマや題材等はないので「自由に好きな絵を描いて下さい」とだけ伝えると、やはり何を書こうか悩んでいる方が多く、職員にアドバイスをもらいながら描き始めていました。絵具や色鉛筆等の画材を沢山用意し、「ひらめいた!」とばかりに真剣な表情で取り組む様子に、職員も



「わあ!すごい!綺麗だね!」と感心しきりで、絵が完成すると「私のが一番だね!」と嬉しそうに職員に見せてくれました。一枚では納得いかず2枚、3枚と描く方もいらつしやいました。

絵を描く事が難しい方はチョークのような画材を粉末状にした物や割りばしにカット綿を巻いた物など、職員が工夫を凝らした画材を使って画用紙に色を乗せ、作画を楽しんで頂きました。入賞した作品は2月にヨーカドーで展示されるとの事で、今年も上位入賞を狙います!

(山田生活支援員)

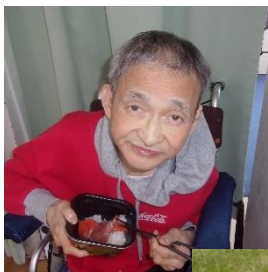
イチ押し! テイクアウト



私が担当しているアドバンスグループの利用者様達が、外出行事で喜ばれるテイクアウトのお店は「インデアン」さんのカレーです!慣れ親しんだ味ということもあるかもしれませんが「おかわり!」の声が多く聞かれます。また、「北海丼丸」さんの海鮮丼も人気のメニューで、2年程前にグループで海鮮丼はどうだろうかと当時の職員と話して挑戦してみました。が、こちらの想像以上に喜んで食べて頂き、あつという間に完食したことがありました!

これからも外出行事ならではの食事を楽しんで頂けるよう、工夫を凝らし企画していきたいと考えております。

(稲守生活支援員)



山下由佳さんです。起床時、寝ぼけていたのか靴下を履く際、両足を一生懸命に入れようとしておりお茶目な一面でした。由佳さんとは帯広やわらぎ園で10数年活動を一緒に過ごしてきましたが日中の時間でしたので、そんな一面がとても新鮮でした。

(山田生活支援員)



My best partner



~利用者様とのほのぼののエピソードをご紹介します~

長谷川 清さんです。長谷川さんは私が出勤すると、「いもうくんきた!」と嬉しそうに笑顔で話しかけてくれます。タイヤグループの担当職員であった期間はそのようなことはなかったのですが、喜んでくれているのを感じ、嬉しく思います。

(稲守生活支援員)

新しい仲間が増えました



(嘉藤生活支援員)

12月27日より新たに入所されました青山知恵子さんのご紹介をさせて頂きます。可愛らしいキャラクターや、お話をすることが大好きです！現在は「リハワークグループ」にて、園内歩行や得意な塗り絵、パズルなどの活動をされています。よろしくお願ひします。

新任職員紹介

昨年10月より、ご縁があり慈光学園で働くことになりました。前職は老人介護ですがこちらでの仕事は初心者です。まだまだ経験不足ですが、皆様の笑顔が励みとなり楽しく働かせて頂いています。皆様のお力になれるように頑張つて参ります。



高砂さざり
生活支援員

趣味：ドライブ

おしえて！ 看護師さん！



慈光学園の石田看護師に「感染症対策」について伺いました。

Q1 施設でのクラスターを防ぐ為に大切なことを教えてください。

A1 手指消毒、マスク、咳エチケットをもう一度徹底する事です。

Q2 施設内や家庭内に感染を持ち込まない為に気を付けることはありますか？

A2 手指消毒・3密を避ける・会話はマスクを着用し短時間で済ませるようにすることで、感染は防ぐことが出来ると思います。

Q3 マスクの着用が困難な場合はどうしたら良いですか？

A3 マスクの着用が難しい方には、フェイスシールドをお勧めします。飛沫も防げますし、息苦しさや圧迫感も無いのでとても有効的です。

(嘉藤生活支援員)



感染症対策について

新型コロナウイルスによるクラスター発生では、ご家族の皆様にも多大な心配をおかけしました。今後オミクロン対応のワクチン接種を予定し、外出には感染対策を講じて利用者様の健康面と日々の生活の充実を図つて参ります。面会につきましても、一定の条件にご理解頂きます事をご了承下さい。

- ① 直近1週間で十勝管外への往来が無い。
- ② 直近1週間で十勝管外の人との接触が無い。
- ③ 来園される3日前までに体調不良または37度5分以上の発熱が無い。

以上、面会希望日をお電話でお知らせ頂き、項目に留意してお過ごしい頂きますようお願いいたします。また、感染状況により一時中止となる場合もありますので、ご了承下さい。

(石田生活支援主任)

行事予定

1月 新年会
2月 各グループ外出
他、感染対策を講じ外出行事を企画しております。

学園のフレッシュな情報を掲載しています！ぜひご覧ください！



帯広慈光学園 HP

編集後記

新年明けましておめでとうございませう。昨年は新型コロナウイルススクラスタにより、ご家族様には大変なご心配をおかけしました。本年も感染対策に務めながら、皆様笑顔で過ごされるよう支援してまいります。

【発行】 帯広慈光学園
0155-64-5106

【編集責任者】
施設長 小森 成人

【編集者】 生活支援員
石田 真咲 稲守 翔平
高橋 信 嘉藤 美咲
山田 洋美